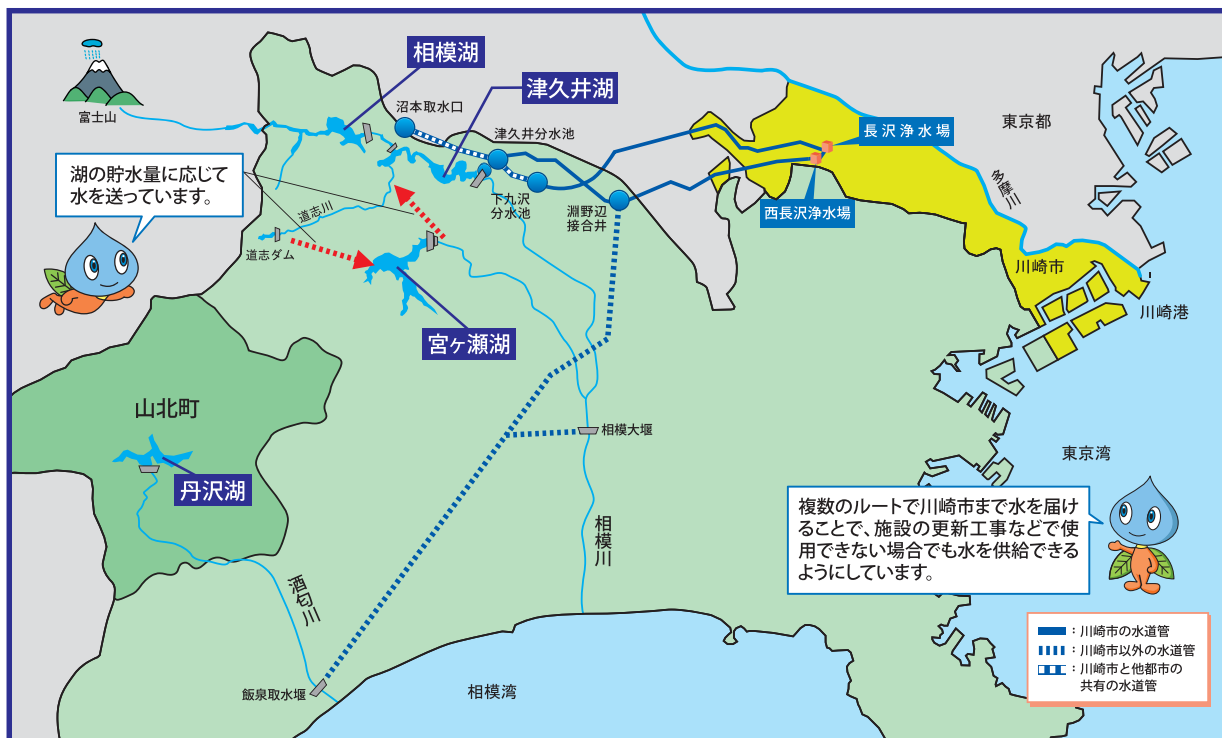


川崎市の水源地を紹介します

川崎市で使われる水道の源(水源地)は、神奈川県西側にあり、相模川と酒匂川の水が長沢浄水場などへ運ばれてきます。神奈川県内の水道事業者や神奈川県内広域水道企業団(*)と連携して、安定的な水の供給を継続して行っています。



豊富な貯水量を誇る神奈川県!

相模湖(相模ダム): 4,820万m³
 津久井湖(城山ダム): 5,120万m³
 宮ヶ瀬湖(宮ヶ瀬ダム): 18,300万m³
 丹沢湖(三保ダム): 5,450万m³

昨年、関東で渇水による取水制限をしていた地域がありましたが、神奈川県は取水制限せずに水を供給しました。



丹沢湖

*神奈川県内広域水道企業団とは

昭和44年に水道用水の広域的有効利用、重複投資の回避、施設の効率的配置と管理及び国の補助金の導入を図ることを目的に設立され、神奈川県、横浜市、横須賀市及び川崎市に水道用水を供給しています。西長沢浄水場、相模大堰、飯泉取水堰は神奈川県内広域水道企業団の施設です。

水源地を守る取り組み in 山北町

水源地は森林地帯であり、その地域に雨が降り、降った雨水を貯めておく大事な働きをしています。荒れた森林は水を貯めることができないため、がけ崩れなどの原因となり、川や湖が汚れてしまいます。そのため、森林を見回り、木を手入れすることが大切となります。水源地の一つ、丹沢湖がある山北町では木を手入れするなどの森林を守る活動を行っています。今回は、現地の方々の活動について話を聞くことができましたので紹介します。



NPO法人共和のもり 富田さん

NPO法人共和のもり 富田 陽子 さん

Q.現在の活動を教えてください。

災害に強い森、雇用を生む森、動物と共存できる森、水源を守る森をめざし、クヌギ、コナラの里山林をつくる活動をしています。具体的には、どんぐりを拾ってきて苗木を育て、植林し、その木の手入れや苗木の周りの下草刈りをしています。また、手入れの遅れた地域のスギ、ヒノキの人工林の間伐もしています。

Q.富田さんが現在の活動を始めたきっかけを教えてください。

森が好きで荒れた山をなんとかしたいと大学で森林について学び、三重県で林業をしていましたが、自分たちで種を拾って苗木を育てるところから山づくりを始めたいと思い、共和のもりで活動を始めました。

Q.活動をしていて大変なことはなんですか。

木を植えてもうサギにかじられたり、シカに苗木を食われたり、天気が悪いと活動できなかったりと自然相手なので予定通りにはいかないのが大変です。また付近の山は急斜面が多く、足元が不安定な場所でチェーンソーなどの刃物を使うときは大変危険なので、ケガをしないよういつも注意しています。

Q.川崎市民へメッセージをお願いします。

普段生活していると、どこから水がきているのかあまり想像できませんが、今後も様々な体験教室や交流事業を行うので参加したり山北町に足を運んでもらって水源地とはどんなところか、興味をもってもらえたらと思います。



人工林の間伐

5月号では、山北町との交流事業の募集を行いますので、ぜひ山北町に遊びにきてください。